

別記様式第1

(地質・土質、測量、調査・計画業務委託)	
委 託 業 務 等 成 績 評 定 表	
〔所属機関名〕	

委託業務等名		
設計額	当初 ¥	最終 ¥
契約金額	当初 ¥	最終 ¥
履行期間	当初：平成 年 月 日～平成 年 月 日	最終：平成 年 月 日～平成 年 月 日
完了年月日	平成 年 月 日	
完了検査年月日	平成 年 月 日	
契約相手氏名		
契約相手住所		
管理技術者氏名		
照査技術者氏名		
担当技術者氏名①		
担当技術者氏名②		
担当技術者氏名③		
総括監督員所属・職・氏名	(担当名)	(職氏名) 印
主任監督員所属・職・氏名	(担当名)	(職氏名) 印
監督員所属・職・氏名	[担当名]	(職氏名) 印
完了検査職員所属・職・氏名	(担当名)	(職氏名) 印

評価項目	監督員 評価点 ①	総括・主任 監督員 評価点 ③	検査職員 評定点 ⑤	業務評定 ⑦	技術者評定			
					管理技術 者、主任 技術者	担 当 技術者	照 査 技術者	
提案力、改善力		-	-	①×10/10			-	
業務執行技術力				①×1/10+③ ×5/10+⑤× 4/10			-	
専門技術力	施工時への配慮 (注1)	概略設計 予備設計	-	-	①×10/10	-	-	-
		詳細設計	-	-	①×10/10	-	-	-
	コスト把握能力(注1)	-	-	①×10/10	-	-	-	
管理技術力	工程管理能力	-	-	①×10/10			-	
	品質管理能力	-	-	①×10/10			-	
	迅速性、弾力性、調整能力	-	-	①×10/10			-	
コミュニケーション力	説明力、プレゼン力、協調性	-	-	①×1/10+⑤ ×9/10			-	
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	-	-	①×1/10+③ ×9/10			-	
	成果品の品質	-	-	①×1/10+⑤ ×9/10			-	
	⑩=⑦の評価点の加重平均点(注2)	-	-	-				
	⑪業務執行上の過失に伴う減点	-	-	-				
	⑫守秘性に伴う過失に伴う減点	-	-	-				
	⑬事故等による減点	-	-	-				
	⑭瑕疵修補又は損害賠償による減点	-	-	-				
	⑮総合評価点=⑩+⑪+⑫+⑬+⑭	-	-	-				

注) 1. 「施工時への配慮」及び「コスト把握能力」は、設計業務のみ評定の対象とする。

2. 「⑩=⑦の評定点の加重平均点」は、少数第一位四捨五入し、正数止めとする。

評定点集計表〔地質・土質、測量、調査・計画業務〕

評価項目	評価の視点	監督員					総括または主任監督員					検査職員					評定点 (注2)	業務評定		技術者評定																										
		配点	得点率	得点範囲	得点	調整後の評 定点	配点	得点率	得点範囲	得点	調整後の評 定点	配点	得点率	得点範囲	得点	調整後の評 定点		評定点	管理技術者、主任技術者		担当技術者(注1)		照査技術者																							
																			評定点	加重平均点の算出	評定点	加重平均点の算出	評定点	加重平均点の算出	評定点	加重平均点の算出																				
専門技術力	提案力、改善力 (加点評価)	専門段階の業務特性等の考慮	○	20:1.0~0.6	20~12												⑦=②	⑦×⑧	2	/200	⑦×⑧	2	/200	⑦×⑧	2	/200																				
		業務遂行段階の提案	○	40:1.0~0.6	40~24	②=																																								
		必要となる経路の提案	○	20:1.0~0.6	20~12	①×10/10																																								
		内容等改善の提案	○	20:1.0~0.6	20~12																																									
	小計		100:	100~60	①=	②=											⑦=	(9.5%)			(9.5%)			(15.4%)																						
	業務執行技術力	目的と内容の理解	○	20:1.0~0.2	20~4																																									
		必要情報の把握	○	20:1.0~0.2	20~4	②=																																								
		検討項目・検討手法	○	20:1.0~0.2	20~4	①×1/10		○	100:1.0~0.2	100~20	④=																																			
		打ち合わせ資料内容 十分な技術力	○	20:1.0~0.2	20~4																																									
	小計		100:	100~20	①=	②=	100:	100~20	③=	④=	100:	100~20	⑤=	⑥=	⑦=		⑦=②+④+⑥	(19.0%)			(19.0%)			(30.8%)																						
	施工時への配慮(設計業務、イ、ロを選択)	イ. 概略設計、予備設計の場合	施工に関する一般知識 施工条件等の把握																																											
		小計																																												
	コスト把握能力(設計対象)	コスト把握能力(設計業務対象)																																												
		小計																																												
	工程管理能力	家屋手続、工程計画	○	30:0.2~1.0	30~6																																									
索償体制		○	10:0.2~1.0	10~2	②=																																									
打ち合わせ内容理解・把握		○	20:0.2~1.0	20~4	①×10/10																																									
工程管理		○	40:0.2~1.0	40~8																																										
小計		100:	100~20	①=	②=																																									
品質管理能力(詳細設計以外は加点評価)	ミス防止の案	○	100:1.0~0.6	100~60	②=①×10/10																																									
	小計		100:	100~60	①=	②=																																								
迅速性、弾力性、調整能力	当初計画の変更	○	40:1.0~0.6	40~24																																										
	関連事業者間の調整	○	30:1.0~0.6	30~18	②=																																									
	地元住民との合意形成	○	30:1.0~0.6	30~18	①×10/10																																									
小計		100:	100~60	①=	②=																																									
説明力、プレゼン能力、協調性	資料・資料の整理・活用	○	30:1.0~0.2	30~6																																										
	資料・資料の整理・活用	○	30:1.0~0.2	30~6	②=																																									
	説明を補助する	○	20:1.0~0.2	20~4	①×1/10																																									
	円滑な業務遂行能力	○	20:1.0~0.6	20~12																																										
小計		100:	100~28	①=	②=																																									
取組姿勢	責任感、積極性	○	100:1.0~0.2	100~20	②=																																									
	責任感、積極性、倫理観	○	100:1.0~0.2	100~20	①×1/10																																									
小計		100:	100~20	①=	②=	100:	100~20	③=	④=	100:	100~20	⑤=	⑥=	⑦=		⑦=②+④	(9.5%)			(9.5%)			(15.4%)																							
結果評価	目的の達成度	○	40:1.0~0.2	40~8																																										
	約理なやり取り	○	30:1.0~0.2	30~6	②=																																									
	ミスの有無	○	30:1.0~0.2	30~6	①×1/10																																									
	小計		100:	100~20	①=	②=	100:	100~20	③=	④=	100:	100~20	⑤=	⑥=	⑦=		⑦=②+⑥	(33.3%)			(33.3%)			(30.8%)																						
⑩=⑦の評定点の加重平均点 (注3)																21	/2,100	21	/2,100	13	/1,300	3	/300																							
業務執行に係る過失に伴う減点																																														
⑪業務執行上の過失																																														
⑫守秘性に伴う過失																																														
⑬事故等による減点(業務遂行段階を対象とする)																																														
⑭成果品に受託者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記載された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点(軽微ミスの修正除く)																																														
⑮総合評定点=⑩+⑪+⑫+⑬+⑭																																														
(監督員)					(総括または主任監督員)					(検査職員)																																				
所見(必ず記載すること)																																														

■は、評定対象外。
○は、必須評定項目。

注：1. 「担当技術者」はそれぞれ3人までとする。
2. 「⑩=⑦の評定点の加重平均点」は、小数第一位を四捨五入し、整数止めとする。

評価項目	評価の視点	配点	得点率(K)					得点	評価細目
			優		標準		劣		
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	提案力、改善力	業務着手段階における業務特性等の考慮	20	評価細目チェック数(N) =0⇒「0.6」 =1⇒「0.8」 =2⇒「1.0」 ----- N= → K=					<input type="checkbox"/> ・当該業務の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた。 <input type="checkbox"/> ・当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析等の手法・技術に関する提案がなされた。注)
		業務遂行段階における提案	40	評価細目チェック数(N) =0⇒「0.6」 =1⇒「0.8」 =2⇒「1.0」 ----- N= → K=					<input type="checkbox"/> ・業務遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 <input type="checkbox"/> ・関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。注)
		業務遂行上必要となる課題の提案	20	評価細目チェック数(N) =0⇒「0.6」 =1⇒「0.8」 =2⇒「1.0」 ----- N= → K=					<input type="checkbox"/> ・当該業務で不足する課題が抽出された。 <input type="checkbox"/> ・検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
		業務内容等改善の提案	20	評価細目チェック数(N) =0⇒「0.6」 =1⇒「0.8」 =2⇒「1.0」 ----- N= → K=					<input type="checkbox"/> ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 <input type="checkbox"/> ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
		小計	100	①					
	業務執行技術力	目的と内容の理解	20	評価細目チェック数(N) =0⇒「0.2」 =1⇒「0.4」 =2⇒「0.6」 =3⇒「0.8」 =4⇒「1.0」 ----- N= → K=					<input type="checkbox"/> ・業務計画書に必要事項が記載されていた。 <input type="checkbox"/> ・当該業務の目的、内容が理解されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 <input type="checkbox"/> ・特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されていた。
		必要情報の把握	20	評価細目チェック数(N) =0⇒「0.2」 =1⇒「0.4」 =2⇒「0.6」 =3⇒「0.8」 =4⇒「1.0」 ----- N= → K=					<input type="checkbox"/> ・業務着手時点において、適切に資料等が整備された。 <input type="checkbox"/> ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。
		検討項目、検討手法	20	評価細目チェック数(N) =0⇒「0.2」 =1⇒「0.4」 =2⇒「0.6」 =3⇒「0.8」 =4⇒「1.0」 ----- N= → K=					<input type="checkbox"/> ・検討（業務）項目は、特記仕様書等の設計図書項目を満足していた。 <input type="checkbox"/> ・採用された検討（業務）手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 <input type="checkbox"/> ・業務目的に照らし必要な検討（業務）項目が不足無く設定され、検討（業務）項目間の整合も図られていた。 <input type="checkbox"/> ・提案された検討（業務）手法は、従来技術を応用・統合あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注)
		打ち合わせ資料の内容	20	評価細目チェック数(N) =0⇒「0.2」 =1⇒「0.4」 =2⇒「0.6」 =3⇒「0.8」 =4⇒「1.0」 ----- N= → K=					<input type="checkbox"/> ・打ち合わせ資料に大きなミスがなかった。 <input type="checkbox"/> ・打ち合わせ資料に、業務を進めるにあたっての課題等が適切に盛り込まれていた。 <input type="checkbox"/> ・打ち合わせ資料に、業務を進めるにあたっての課題解決策や提案等が適切に盛り込まれていた。 <input type="checkbox"/> ・適用する諸基準類のない業務、若しくは難易度の高い業務等を進めるにあたり、的確な理論展開による説明が盛り込まれていた。
		十分な技術力	20	評価細目チェック数(N) =0⇒「0.2」 =1⇒「0.4」 =2⇒「0.6」 =3⇒「0.8」 =4⇒「1.0」 ----- N= → K=					<input type="checkbox"/> ・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 <input type="checkbox"/> ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。（測量においては、作業に応じた機器等が配置されていたことも併せて評価する） <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 <input type="checkbox"/> ・新たな、あるいは高度な調査・解析等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。注)
小計	100	①							

注) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

評価項目	評価の視点	配点	得点率 (K)					得点	評価細目	
			優 標準 劣							
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
プロセス評価	工程管理 能力	実施手順、 工程計画	30	評価細目チェック数 (N) =0⇒「0.2」 =1⇒「0.4」 =2⇒「0.6」 =3⇒「0.8」 =4⇒「1.0」 ----- N= → K=					<input type="checkbox"/> ・契約書等に記載された期限以内 (ex. 契約締結後14日以内) に業務工程表が提出され、速やかに業務の着手がなされた。 <input type="checkbox"/> ・業務実施方針及び工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務実施方針又は詳細な工程表には、業務実施上のポイントとなる工程目標等が具体的に示されていた。 <input type="checkbox"/> ・作業 (調査、検討) 項目間の実施手順等が適切に計画されていた。	
		実施体制	10	評価細目チェック数 (N) =0⇒「0.2」 =1⇒「0.4」 =2⇒「0.6」 =3⇒「0.8」 =4⇒「1.0」 ----- N= → K=					<input type="checkbox"/> ・契約図書に基づき、管理技術者届け等及び業務計画書が提出された。 <input type="checkbox"/> ・業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が履行された。 <input type="checkbox"/> ・配置された担当技術者若しくは照査技術者は、業務内容に応じた技術者が配置され、適正に履行された。 <input type="checkbox"/> ・業務計画書 (業務組織計画) に示された実施体制は、本業務の履行に対して十分な体制であった。	
		打合せ内容の 理解、記録	20	評価細目チェック数 (N) =0⇒「0.2」 =1⇒「0.4」 =2⇒「0.6」 =3⇒「0.8」 =4⇒「1.0」 ----- N= → K=					<input type="checkbox"/> ・打合せ記録簿が、打合せ後速やかに提出された。 <input type="checkbox"/> ・打合せ記録簿の記載内容が打ち合わせ結果を適切に反映し、打合せ後の進め方や懸案事項等が的確に整理されていた。 <input type="checkbox"/> ・受注者内 (再委託先等を含む) で意志疎通がなされ、指示や打ち合わせ事項が、その後の資料等に適切に反映されていた。 <input type="checkbox"/> ・打合せ時に生じた不明点等の協議・確認が適切になされ、打合せ内容が理解された (打合せ後に不明点等に対する問い合わせ等を発注者に行うことはなかった)。	
		工程管理	40	評価細目チェック数 (N) =0⇒「0.2」 =1⇒「0.4」 =2⇒「0.6」 =3⇒「0.8」 =4⇒「1.0」 ----- N= → K=					<input type="checkbox"/> ・指示や注意を行う必要のあるような工程の遅れや、履行期限内に納品されない等はなかった。 <input type="checkbox"/> ・設計図書に基づく作業状況の報告、履行報告等を適切な時期に提出していた。 <input type="checkbox"/> ・関連する他の業務や工事等に影響を及ぼすことなく完了できた。 <input type="checkbox"/> ・履行中のポイントとなる工程目標等も含め、全体を通して工程計画どおり完了できた。	
		小 計	100	①						
	品質管理 能力	ミス防止の 実施	100	評価細目チェック数 (N) =0⇒「0.6」 =1⇒「0.8」 =2⇒「1.0」 ----- N= → K=					<input type="checkbox"/> ・「業務計画書」における「成果品の品質を確保するための計画」に記述された内容とその活動を適切に実施した等、(チェックリスト等の品質管理の記録により、) 品質の管理がされたことを確認できた。 <input type="checkbox"/> ・品質管理のためのシステムが構築されている部署で業務が行われ、かつ、それらの成果への反映について確認できた。 (ex. ISO9001等の認証取得状況と成果への反映の確認)	
		小 計	100	①						

評価項目	評価の視点	配点	得点率 (K)					得点	評価細目
			優		標準		劣		
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
管理技術力	迅速性、弾力性、調整能力	当初計画の変更	40	評価細目チェック数 (N) =0⇒「0.6」 =1⇒「0.8」 =2⇒「1.0」 ----- N= → K=					<input type="checkbox"/> ・業務遂行中に生じた、当初工程計画や業務内容の変更要請、あるいは監督職員の指示等に迅速に対応した。 <input type="checkbox"/> ・その結果生じた検討（業務）内容が特に優れていた。
		関連事業者間の調整		30	評価細目チェック数 (N) =0⇒「0.6」 =1⇒「0.8」 =2⇒「1.0」 ----- N= → K=				
		地元住民との合意形成	30		評価細目チェック数 (N) =0⇒「0.6」 =1⇒「0.8」 =2⇒「1.0」 ----- N= → K=				
		小 計		100	①				
プロセス評価	説明力、プレゼンテーション力、協調性	理解しやすい説明・プレゼンテーション（資料）	30	評価細目チェック数 (N) =0⇒「0.2」 =1⇒「0.4」 =2⇒「0.6」 =3⇒「0.8」 =4⇒「1.0」 ----- N= → K=					<input type="checkbox"/> ・日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 <input type="checkbox"/> ・図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 <input type="checkbox"/> ・資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 <input type="checkbox"/> ・資料の要約が作成されており、容易に内容を捉えることができた。
		理解しやすい説明・プレゼンテーション（対応）		30	評価細目チェック数 (N) =0⇒「0.2」 =1⇒「0.4」 =2⇒「0.6」 =3⇒「0.8」 =4⇒「1.0」 ----- N= → K=				
		説明を補う努力	20		評価細目チェック数 (N) =0⇒「0.2」 =1⇒「0.4」 =2⇒「0.6」 =3⇒「0.8」 =4⇒「1.0」 ----- N= → K=				
		円滑な業務遂行への努力		20	評価細目チェック数 (N) =0⇒「0.6」 =1⇒「0.8」 =2⇒「1.0」 ----- N= → K=				
		小 計	100		①				

評価項目	評価の視点	配点	得点率 (K)					得点	評価細目	
			優		標準					劣
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
プロセス評価	取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性	100	評価細目チェック数 (N) =0⇒「0.2」 =1⇒「0.4」 =2⇒「0.6」 =3⇒「0.8」 =4⇒「1.0」 ----- N= → K=					<input type="checkbox"/> ・管理技術者、照査技術者、担当技術者として、責任逃れの言動はなかった。 <input type="checkbox"/> ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
			小計	100	①					
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数 (N) =0⇒「0.2」 =1⇒「0.4」 =2⇒「0.6」 =3⇒「0.8」 =4⇒「1.0」 ----- N= → K=					<input type="checkbox"/> ・設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 <input type="checkbox"/> ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。(注)	
		的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数 (N) =0⇒「0.2」 =1⇒「0.4」 =2⇒「0.6」 =3⇒「0.8」 =4⇒「1.0」 ----- N= → K=					<input type="checkbox"/> ・設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 <input type="checkbox"/> ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 <input type="checkbox"/> ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 <input type="checkbox"/> ・設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。	
		ミスの有無	30	評価細目チェック数 (N) =0⇒「0.2」 =1⇒「0.4」 =2⇒「0.6」 =3⇒「0.8」 =4⇒「1.0」 ----- N= → K=					<input type="checkbox"/> ・チェック方法に努力と工夫が見られた成果品であった。 <input type="checkbox"/> ・成果品の品質に大きく影響しない（簡易に修正できる）表記・計算等のミスも認められなかった。 <input type="checkbox"/> ・誤字・脱字、表記等、軽微なミスも認められなかった。 <input type="checkbox"/> ・必要書類も整備されていた。	
		小計	100	①						

注) 考査基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

評価項目	評価の視点	配点	得点率 (K)					得点	評価細目
			標準			劣			
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して 「0.2」 「0.4」 「0.6」 (基準点) 「0.8」 「1.0」 を付与する。					<input type="checkbox"/> ・当該業務の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・当該業務に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・当該業務に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・当該業務の打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・当該業務に必要とされる技術力を十分に発揮し、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・その他 (理由:)
		小計		100	③				
	取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して 「0.2」 「0.4」 「0.6」 (基準点) 「0.8」 「1.0」 を付与する。					<input type="checkbox"/> ・企業として積極的に技術の研鑽に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に対して評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・地域への貢献等に関して、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、業務を完成させた。 <input type="checkbox"/> ・その他 (理由:)
		小計		100	③				
業務執行に係る過失に伴う減点	業務執行上の過失		評価細目チェック数1つ毎に3点減点 N=					<input type="checkbox"/> ・業務執行上、指摘又は指導を行ったが、改善されなかった。 <input type="checkbox"/> ・関係者から苦情が寄せられる等、問題が認められた。又は、問題発生時の情報連絡等、対応が適切に行われなかった。 <input type="checkbox"/> ・業務処理のミスにより大きな手戻りが生じた。 <input type="checkbox"/> ・業務実施体制に問題があった。 <input type="checkbox"/> ・その他 (理由:)	
	守秘性に伴う過失		評価細目チェック数1つ毎に3点減点 (チェックは1つまで) N=						<input type="checkbox"/> ・業務に関する情報漏洩があり、受注者の責任によるものと発注者が判断した。 <input type="checkbox"/> ・その他 (理由:)

評価項目	評価の視点	配点	得点率 (K)					得点	評価細目	
			標準							
			優	標準	劣					
1.0	0.8	0.6	0.4	0.2						
プロセス評価	専門技術力 業務執行技術力	検討項目、 検討手法	50	評価細目チェック数 (N) =0⇒「0.2」 =1⇒「0.4」 =2⇒「0.6」 =3⇒「0.8」 =4⇒「1.0」 ----- N= → K=					<input type="checkbox"/> ・検討（業務）項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 <input type="checkbox"/> ・採用された検討（業務）手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 <input type="checkbox"/> ・業務目的に照らし必要な検討（業務）項目が不足無く設定され、検討（業務）項目間の整合も図られていた。 <input type="checkbox"/> ・提案された検討（業務）手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注) <input type="checkbox"/> ・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 <input type="checkbox"/> ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。（測量においては、作業に応じた機器等が配置されていたことも併せて評価する） <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 <input type="checkbox"/> ・新たな、あるいは高度な調査・解析等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。注)	
		十分な技術力	50	評価細目チェック数 (N) =0⇒「0.2」 =1⇒「0.4」 =2⇒「0.6」 =3⇒「0.8」 =4⇒「1.0」 ----- N= → K=						
		小計	100	⑤						
	コミュニケーション力	説明力、 プレゼンテーション力、 協調性	説明力、 プレゼンテーション力、 協調性	100	評価細目チェック数 (N) =0⇒「0.2」 =1⇒「0.4」 =2⇒「0.6」 =3⇒「0.8」 =4⇒「1.0」 ----- N= → K=					<input type="checkbox"/> ・質問に対する的確な回答がなされ、一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 <input type="checkbox"/> ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 <input type="checkbox"/> ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 <input type="checkbox"/> ・説明当事者の説明が十分なされた。または、説明が不十分な場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。
			小計	100	⑤					
	結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数 (N) =0⇒「0.2」 =1⇒「0.4」 =2⇒「0.6」 =3⇒「0.8」 =4⇒「1.0」 ----- N= → K=					<input type="checkbox"/> ・設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 <input type="checkbox"/> ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。注)
的確なとりまとめ			30	評価細目チェック数 (N) =0⇒「0.2」 =1⇒「0.4」 =2⇒「0.6」 =3⇒「0.8」 =4⇒「1.0」 ----- N= → K=						
ミスの有無			30	評価細目チェック数 (N) =0⇒「0.2」 =1⇒「0.4」 =2⇒「0.6」 =3⇒「0.8」 =4⇒「1.0」 ----- N= → K=						
小計			100	⑤						

注) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。